

つどい まなぶ つくる

# よろこび

2014年夏・創刊号

## CONTENTS

- 2 美術展覧会、市民カレッジ講座
- 2 施設紹介・ようこそ!まなびの杜  
「市民ギャラリー」
- 3 地域レポート・まちづくり探検隊  
「第32回北浦一周サイクリング」
- 3 しみせん市民センのひろば ほか
- 4 INTERVIEW ROOM・きらり★まちづくり  
NPO法人かしま遊休地活用クラブ・村田浩伸さん



第18回

# 鹿嶋市美術展覧会



▲昨年の鹿嶋市美術展覧会から

美術展覧会は絵画や陶芸など、日頃さまざまな創作活動を行っている皆さんの作品を公募し展示することで、より一層の創作意欲の向上と芸術文化活動の啓発・普及を目的として開催します。

**会期** 7月1日(火)～6日(日) 9:30～17:30  
(最終日は16:00まで)

**場所** まちづくり市民センター体育館

**部門** 絵画・書・写真・工芸の各部門

**問合せ** 鹿嶋市文化協会事務局  
TEL:090-5528-6297  
まちづくり市民センター  
TEL:83-1551

## 参加者募集

## 平成26年度市民カレッジ講座

まちづくり市民センターでは、市民のだれもが生活スタイルに応じて自由に学び、楽しみ、一人ひとりが輝くために、日常生活に密着した学びの場を提供しています。

**対象** 市内在住、在勤、在学の方

※「電気で遊ぼう手作りモーター」は、小学校3～6年生を対象

**募集人員** 各講座20人(応募者多数の場合は抽選により決定)

**受講料** 無料

※「電気で遊ぼう手作りモーター」は300円(材料費)

**申込方法** まちづくり市民センターにある申込書に、希望する講座名、住所、氏名、電話番号、年齢、性別を記入し、FAXまたは直接窓口で申込み。

※申込書は、まちづくり市民センターのホームページからもダウンロードできます。

### 講座一覧

講座名および内容	開催日時	申込締切
<電気で遊ぼう手作りモーター> キットを利用してモーターを作り、電気モーターと発電機のメカニズムを学習します。	8月8日(金) 9:30～11:30	7/18 (金)
<鹿嶋市の都市計画> 都市計画マスタープランや都市計画上のまちづくり事業について学びます。	9月19日(金) 13:30～15:00	9/5 (金)
<歴史ウォーキング> 市内の史跡や風土記に関するコースをウォーキングで巡ります。	10月17日(金) 時間未定	10/3 (金)
<インターネットによる情報収集> 市のホームページやメールマガジンなどの説明を通してインターネットの有効な活用方法を学びます。	12月19日(金) 9:30～11:30	12/5 (金)
<サッカーを活かしたまちづくり> 鹿島開発からJリーグ「鹿島アントラーズ」の誕生、2002FIFAワールドカップ開催などの歩みを紹介します。	平成27年 1月23日(金) 13:30～15:00	1/9 (金)

**問合せ** まちづくり市民センター TEL83-1551 FAX83-1553

～まちづくり市民センターの館内をシリーズで紹介～



## ようこそ! まなびの杜

(vol. 1)



### 「市民ギャラリー」



個人やグループなど少人数で芸術・文化活動の発表できる場として、また、市民が日常的に多くの芸術作品にふれる機会として、「市民ギャラリー」を常設しています。

展示内容など、詳細はお気軽にまちづくり市民センターまでお問い合わせください。

### 利用要件

まちづくり市民センターの施設を使用できる団体・個人で、生涯学習活動を目的とすること。

※営利目的や政治・宗教活動に関するものは利用できません。



### <市民ギャラリー データファイル>

【場 所】 B棟1階

【面 積】 104㎡

【備 品】 パネル、S字フック、ピクチャーフック、スポットライト、ベルトポール、その他(案内板、インフォメーションボードなど)

【施設の予約】 使用する日の6カ月前から予約可。

【展示期間】 原則1週間(火曜日から日曜日まで)

【利用料金】 市内在住、在勤、在学の方は無料。ただし、生涯学習活動でない場合等は有料(2時間まで1,020円。2時間以降1時間ごとに510円加算)。

【その他】 利用期間中は展示品の管理等のため、1名以上の関係者の常駐が必要です。

利用しています!!

しみせん  
市民センの



大浦 裕子さん  
(平井)

週2回、仲間と楽しく社交ダンスの練習で利用しています。  
大会に向けてただ今特訓中!



根本 範昭さん  
(緑ヶ丘)

太極拳で楽しく健康づくりがモットー。  
月2回利用しています。  
旅が好きで、今月は与那国島に行ってきます!



笹本 裕里さん  
(宮中)

部活帰りにインフォメーションルームを利用させていただいています。部活はバレーボール部でがんばってます。  
シミセン大好き!

地域レポート



まちづくり  
探検隊  
(vol.1)



第32回

### 北浦浄化キャンペーン北浦一周サイクリング

さわやかな青空が広がる5月17日、豊津スポーツ父母の会(会長=山本貴さん)と豊津地区まちづくり委員会(委員長=飯島亘隆さん)が主催する「北浦浄化キャンペーン北浦一周サイクリング」が開催されました。

この事業は、今年で32回目を数える豊津地区の伝統事業で、走行コース約38キロを参加者56人が自転車で走行し、地区の大切な水源である北浦の水質浄化や環境保全を呼びかけました。

★走行コース★



▲午前8時30分、豊津小を出発!



▲豊津小児童とウグイス嬢?がスピーカーを通して北浦の浄化を呼びかけ

▼バイクで先導担当の山町さん。地域の皆さんに支えられています



▲6年間すべて参加の藤枝元輝くん(左)と松岡綺羅さん(右)。閉会式で賞状と記念盾が贈られました。おめでとう!



▲坂道はつらい…(泣)



▲北浦湖岸を一行でサイクリング。気分は最高!

## 掲示板

### まちづくり市民センター 館内クールビズ実施中です

- 実施期間  
5月1日～10月31日
- エアコンは28℃設定です  
省エネ、節電にご協力ください。
- ご来館は涼しい服装で  
クールビズ、薄着を心がけてください。
- こまめな水分補給を  
体内の水分不足は、熱中症を招きます。



ご協力をお願いします

★編集後記★まちづくり市民センターだより『よろこび』を手にとっていただきありがとうございます。この広報紙は、昨年度まで発行していたカルチャーネット広報誌『ま・なびの杜』に代わり、まちづくり市民センターでの活動や地域のまちづくりの取組みなど、市民の皆さんにスポットをあてた広報紙として生まれ変わりました。創刊号の発行にあたり、突然のお願いに快くご協力くださった皆さん、すてきな笑顔をありがとうございます。次号の秋号は、9月15日に発行予定です。今度はあなたの元にカメラを持った担当が伺います!ご協力よろしくお祈いします。

## NPO法人 かしま遊休地活用クラブ

理事長 村田 浩伸さん

## 夢は滞在型“クラインガルテン” 遊休地を活用したまちづくり

### 地域に恩返しが原点

今から12～13年くらい前、当時まだ会社員でしたが、長年お世話になった鹿嶋に、歳を取って何か恩返しができたらなあと少しずつ思い始めました。

平成16年に茨城大学地域総合研究所の鹿嶋研究センター\*の客員研究員となり、最初に研究したのが滞在型の市民農園「クラインガルテン」です。サッカースタジアム周辺の荒地となっている土地を活用し、サッカー観戦に来るお客さんがログハウスに滞在し、畑で野菜作りをしながら地元の人と交流し、まちに賑わいを持たせようというものです。先進地の笠間市を視察するなど、市と一緒に検討したこともありましたが、実現には至りませんでした。

### 遊休地を借りて 約20品目を栽培

クラインガルテンが将来できる希望を持ちながら、市内の耕作されていない農地を借りて、まずは市民の皆さんで農業をやろうと始まったのが今の活動です。約2年間のまちづくり市民懇話会の「遊休地活用プロジェクト」を経て、昨年、NPO法人を設立しました。現在、約15,000㎡の土地を借りて、55人の会員がスイカやジャガイモ、そばなど約20品目を栽培しています。栽培品目は1品目からでも選べ、時間のある人はたくさん選ぶこともできます。

収穫した作物は自分たちで分配し、残りはJAの直売所や市内のスーパーなどで販売しています。

みんな本当に好きで農業をやりたくて一生懸命活動していますよ。周りから見ると大変そうだと思うかもしれませんが、みんな楽しく活動しています。

### 設立から3年間で 経営の土台づくり

昨年、市の市民活動支援制度の協働事業に認定され今年で2年目。種代や肥料代、土地借地料など経費を差し引くと、経営的にはまだまだですが、設立から3年間は、いただいた支援金を活用し耕運機やビニールハウスなど機材や設備を充実させ、経営の土台づくりを目指しています。

クラブの今の弱点は、若い仲間が少ないこと。若者は生計を立てないとならないわけですから、事業として成り立たなければ若者は集まりません。そのためは、やはり「目玉作物」を作りたい。今のところ可能性のあるのは、そばと夏のスイカ、



▲ひまわり畑で市内幼稚園児と種まき  
(写真中央が村田さん)

トウモロコシ、ひまわりでしょうか。ひまわりは花を楽しんだ後に、種からひまわり油を搾ります。それと、何も作らずに畑が空いている状態をなくすこと。冬でも何らかの作物を作り一年を通して活動できるよう工夫しています。

### 行政と手を携えて 協働のまちづくりを

農家の人にとっては、先祖代々受け継いだ土地を手放したくない気持ちもあると思うんです。自分の土地を使ってほしいと思っている地主さんがたくさんいるかもしれない。遊休地の活用は、そういう気持ちを大切にするための活動のひとつだと思います。

今、事業として挑戦したいと思っているのは、夏から冬にかけて栽培するイチゴです。人的にも、またハウスの確保など設備的にも今の規模では困難かもしれない。でも、実現できる要素があるなら体制作り努力する。そういう気持ちは持っています。それには、もっと行政と手を携えて仕事をしたい。いただいた支援金で自由に活動ができるのはとてもありがたいですが、さらに一歩踏み込んで、支援金をもっと有効に使えるような方策を行政と意見を出し合い、協働で実現していきたいと思っています。

\*まちづくり市民センター内にある現在の茨城大学人文学部市民共創教育研究センター鹿嶋研究所

#### <PROFILE>

むらた・ひろのぶ=NPO法人かしま遊休地活用クラブ理事長。茨城大学人文学部市民共創教育研究センター鹿嶋研究所客員研究員。学生、社会人を通じサッカー界に寄与。趣味は陶芸。下埜在住。69歳。